

## 平成22年度第3回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成22年11月9日（火）午後1時30分～午後3時57分

場 所 大沢コミュニティセンター 会議室2・3

出席者（15名）

1号委員 佐藤重孝 土井棟治朗 土井長俊 信夫一秋 後藤甚一

丸藤百合子 後藤正利 池田善幸 遠田蓉子 浅井博之

2号委員 後藤純子 兵藤満喜子 池田桂 高橋知美

3号委員 後藤征四郎

政策推進課：課長 白崎好行、主査 前田茂男、主査 山口仁

八幡総合支所：総合支所長 土井一郎、地域振興課長 後藤修、市民福祉課長 齋藤仁志、建設産業課長 阿部幸秀、八幡病院事務長 佐藤弥、建設産業課長補佐 後藤重明

地域振興課 鳴瀬勉・永森忠嗣・池田裕子

傍聴者： 1名

### 議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

(1)過疎地域自立促進市町村計画について

(2)管内視察の感想等について

5 総合支所からの報告事項等について

(1)e-なかネット事業の民営化について

(2)平成23年度地域づくり予算要求等について

(3)その他

6 閉 会

## 1 開 会

○兵藤満喜子副会長　本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。これより、第3回の地域協議会を開会いたします。会議次第に従いまして、土井会長からの挨拶をお願いします。

## 2 会長あいさつ

○土井長俊会長　前回は日向コミセン、そして今回はここ大沢コミセンにお邪魔しての地域協議会です。最後まで、実りある議論をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 3 会議録署名委員の指名

○兵藤副会長　会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。今回は“8番の池田善幸委員”をお願いしたいと思います。池田委員、よろしくお願いいたします。

○池田善幸委員　わかりました。

○兵藤副会長　それでは早速協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。

## 4 協議

○土井議長　それでは、まず初めに、過疎地域自立促進市町村計画について、市担当課から説明願います。

○白崎好行政策推進課長　当地域については、6月7日に委員の皆さんから意見を伺い、その後、コミ振等様々な団体からも聴き取りを行ってまいり、本日、このように過疎計画の原案をお示しします。明日、明後日と松山・平田両地域協議会に説明し、12月市議会に提案したいと考えています。本計画は6年計画ですが、以前お話したように、総合支所と協議会の皆さんとで、来年7月頃までに「地域ビジョン」を策定していただくこととなりますので、今後ともよろしくお願いいたします。計画の詳細は担当から説明します。

○山口仁政策推進課主査（資料No. 1～3により説明）過疎計画は22年度から27年度までの6年計画で、基本理念は総合計画と同じであり、計画の施策体系は国で示した様式に沿っています。本計画を元に、今後、23年度から29年度までを予定した地域ビジョンを作成し、地域の特色や資源を生かしたまちづくりの方向性を整理していただきたい。計画には産業振興、交通通信体系等、それぞれの分野の最後に事業計画を定めており、その中で、過疎地域自立促進特別事業はソフト事業となっています。なお、事業計画において「今後検討」とあるのは、計画には載せないが、来年度以降、計画に盛り込むために検討するもので、（基金）という記載は、過疎債を財源とした基金を積み立てて事業を推進するものです。

○土井議長　ただいまの説明に関し、委員の意見を伺いたいと思います。

○浅井博之委員　林業・木材関係では様々な事業があり、木材人工乾燥施設等整備事業が今後検討となっておりますが、某製材所跡地に木材の乾燥機を導入する話があるようです。

が、それを伺いたい。

- 白崎政策推進課長** 庄内2市1町の事業所が協同組合をつくり、乾燥施設を建設する話を聞いています。県でも庄内地方の林業が手薄いという認識があり、国へ要望する段階とのことです。
- 浅井博之委員** 乾燥機を導入するだけでは、実際の本材が流通していかないと思うので、今後どのように進めていくのでしょうか。
- 白崎政策推進課長** 詳細は市農林水産課が窓口となっていますが、市民から地元産材を使用してもらうようにしていくとともに、そうしたニーズに対応できるよう、現在、検討しています。
- 浅井博之委員** 民間企業に任せると自己利益に走り、うまくいくのか疑問に思いますので、リードは行政でやり、期間を限定した第3セクター等で行うのが良いのではないのでしょうか。
- 白崎政策推進課長** 行政としてどういった支援ができるのか、検討している段階ですので、担当課には申し伝えます。
- 土井議長** そのほかありませんか。
- 佐藤重孝委員** 地域ビジョンは今後どのように地域と議論し策定するのか。林業関係で言えば、計画では綺麗な言葉で記されているが、もう少し厳しい現実を踏まえた表現にならないのか。それから、事業計画として道路整備が多いが、本計画に入れる前に、市で当然やるべき事業ではないのか。
- 白崎政策推進課長** 地域ビジョンについては、計画の整備方針をベースに皆さんで議論し、策定していただきたい。道路は地域整備に必要であり、必要性が高いものを計画に載せたもので、飽くまでも、有利な財源を使うためのものです。なお、事業計画の中で「今後検討」については、煮詰まった段階で計画に載せていく予定であり、計画の変更は柔軟に対応していきたいと思っています。
- 佐藤重孝委員** 道路整備は当然必要なのですが、過疎計画に載せて事業を行うことに疑問があったものですから発言しました。
- 土井棟治朗委員** 事業計画で、公園線（2期）改良舗装とありますが、場所はどこですか。
- 阿部幸秀建設産業課長** 八森団地から舞鶴橋までの区間で、水門のあたりです。
- 土井議長** 荒町山根線の改良舗装が載っていますが、信夫委員、ご意見ありますか。
- 信夫一秋委員** ルートを教えていただければ用地等の協力をしますので、是非、計画にある2年間での完成をお願いしたい。
- 白崎政策推進課長** 飽くまでも計画に位置づけた、ということで、実際は予算査定の中で、事業期間等が変更する可能性がありますので、ご承知願います。
- 後藤征四郎委員** 自分なりに計画を見直したところ、地域ごとの項目がかなり重複しており、共通事項はもう少しまとめてもいいように感じました。それから、産業誘致のところ、**「企業誘致対策」**が松山地域だけとなっていますが、これは全市的な問題ではないのでしょうか。

- 白崎政策推進課長 確かに重複している部分はありますが、構成上、各地域ごとの記載ですので、ご理解をいただきたい。また、松山には工業団地があるため記載したもので、企業誘致自体は全市に関係することで変更はありません。
- 後藤甚一委員 交通整備で、古升田線及び下青沢線・支線改良舗装とありますが、場所ほどのあたりですか。
- 阿部建設産業課長 場所につきましては、後でお示しします。
- 後藤正利委員 八幡病院医療機器整備事業で1億1千7百万円ほどを予定しているようですが、何を計画しているのか、教えていただきたい。
- 佐藤弥八幡病院事務長 今年度は、超音波で骨密度を測定する器械を含め5つの器械、来年度以降については、医師と相談しながら更新器械を選定する予定です。
- 後藤正利委員 赤剝地内流雪溝整備事業は、昨年度から工事して来年度までかかるのですか。
- 前田茂男政策推進課主査 23年度までの予定です。
- 池田善幸委員 過疎というと暗いイメージがあり、計画の事業で地域が自立し、夢が持てるように、ということだろうが、実際は、人口流出、限界集落、ということで、こうした施策を行っても夢が持てるとは感じられない。若い人がここに住んで良かった、と思えるような事業が盛込まれていないように感じます。市条の荒瀬川端に住宅地があり、結構、市街地から住んでいる人がいるが、その理由として、宅地が安いからだと言う。そうした、地域の良い所を計画に載せられないものか。林業で言えば、大切な鳥海山を抱える我々の地域のこととして、“ナラ枯れ”、が一言も計画にない。将来、安心して子供達に残せるような自然も計画にうたっていく必要があるのではないか。
- 白崎政策推進課長 どうしても計画では国から示された様式があるため、こういう書き方になりましたが、是非、ビジョンには夢があり、実現できる計画を載せていただきたい。また、ナラ枯れの件については、計画P. 40の(10)その他中の各種事業に該当させ、対応することも可能ではないか、と思います。今回の過疎計画ではソフト事業も対象になるということで、今年度は1億5千6百万円ほどを基金として積み立てるとともに、来年度以降の積立分も含め、どのようなことができるのか、皆さんと考え、事業を進めたい。
- 土井総合支所長 来年7月を目途に支所で、地域ビジョンを策定することになりますが、自分たちがどういう「まちづくり」をするか、という内容になるかと思えます。事業実施には皆さんからのアイデアが必要なので、よろしくお願ひしたい。
- 浅井博之委員 資料中、八幡地域の事業計画と全地域において実施する事業とあるが、事業はこれに絞られるのか、関係はどうか、そのあたりを説明願ひたい。
- 白崎政策推進課長 皆さんと協議しながらビジョンを作成し、その中で、実施可能また実現可能という事業がありましたら、計画に追加で載せていく予定ですので、ご理解いただきたい。
- 浅井博之委員 事業についてはこれから地域で議論し、支所で追加も含め取りまとめていくということですか。

- 土井総合支所長 計画で描ききれなかった事項に関してはビジョンに盛り込み、これについては総合支所が策定をする。そして、事業については、八幡地域の事業と八幡も含めた3地域の事業にプラスしてソフト事業がある。仮に過疎計画とビジョンに盛り込まれなかったとしても、総合計画の事業に該当すれば、実現の可能性があります。
- 浅井博之委員 市街地へ移転するなど人口流出がある中で、本地域として、計画の事業を通じ、発展できるのでしょうか。
- 白崎政策推進課長 本計画は地域の特性や資源を生かし、いかに安心して住みやすいまちにしていくか、というものであり、経済対策ではありません。また、過疎計画だから何でもできるのではなく、3割の一般財源が必要ですので、財源のバランスを見て、取り組む必要があります。皆さんと知恵を出しながら、一緒に考えていきたい。
- 土井総合支所長 本計画の事業の遂行で人口流出が止まるか、と言われれば、中々難しい面があるかと思いますが、今回、新しくソフト事業もできるわけですので、皆さんの経験を生かした「知恵・力」を是非、貸していただきたいと思います。
- 遠田蓉子委員 前回お話した、旧中央公民館跡地へのトイレの件はどうなったでしょうか。
- 白崎政策推進課長 現在予算の査定中であり、現段階で、やるやらないを申し上げることはできませんので、ご了解願います。
- 遠田蓉子委員 平田・松山は街灯が明るいのですが、八幡は以前から、灯数が少なく暗い状況で、自分の知っている道路も暗く、よく事故が発生したり、危険だと思う箇所があります。どのような基準で設置しているのか、伺いたい。
- 白崎政策推進課長 本計画にも街路灯等整備事業があります。一般的に、街路灯であれば道路管理者で整備し、防犯灯は市直轄のものと自治会管理のものがありますが、その電気料金がかなりの額になるのです。通学路でもあり、危険な所には設置することになりますが、実際の問題として整理が必要ではないか、と考えているところです。
- 後藤純子委員 街路灯についてですが、鳥海八幡中学校から大久保まではないですし、八幡小学校から福山までも少ない状況です。また、家の近くでは、荒瀬川の土手の観音寺側、夜は真っ暗ですので、どこにどういう風に要望すればよいのでしょうか。
- 白崎政策推進課長 まちづくり推進課が担当ですのでそこに要望してもらったり、移動市役所の場合でも承りますが、その後、現地を見て、対応することになります。お話の件では、その道路が通学路指定になっているかどうか、それから県道か市道か、という問題があると思います。
- 後藤純子委員 今後、皆で地域ビジョンを作っていくということですので、その中で、「地域の宝さがし」をしながら、意見を言っていきたい。
- 池田桂委員 計画に観光案内標識設置整備事業とありますが、タウンセンターが建つ前、総合支所の所の鳥海山の案内看板が、大沢方面を向いていたのが記憶にあります。それから看板で、どこそこまで何km、と案内されているが、どこを基準にしているのか分からないことがあります。
- 阿部建設産業課長 看板については現在検討中の状況です。それからkm表示について

は、道路標識であり、道路基準に沿っての設置ということになります。

○高橋知美委員 道路整備の公園線（2期）についてですが、市街地からゆりんこに行く車が停止標識の所で止まらず、危険な場面に遭遇したことがありました。また、川からの遊歩道がそこで切れ、木が立って陰になり暗いため、自転車が出てきても見えにくいということがありますので、是非、事業をする場合は、そうしたことの解消をお願いしたい。それから、荒瀬川の土手の道路、保育園側ですが、歩いている人が車両通行の際、危険なので、わざわざ避けることがないように、本計画で整備していただければと思います。

○阿部建設産業課長 公園線の整備については、事業が具体化した段階で、また話をしていきたいと思えますし、土手の市道については現地を見ながら対応を考えていきたい。

○丸藤百合子委員 山間地に住んでいる関係上、除雪対策が気になります。以前のこの場でも申しましたが、大沢小学校がなくなったため、通学路でないということで、歩道の除雪をしなくなり、危険でも車道を歩かなければなりませんので、是非、歩道の除雪をお願いしたい。それから、各地区で花いっぱい運動を実施し、季節になると競ってきれいな花が見られますが、如何せん、歩道の縁石の所の草が伸び放題で、大変みっともない状況がありますので、そういった草を刈ったりする奉仕の心、善良な心の輪が広がればいいと考えています。

○白崎政策推進課長 花いっぱい運動については、環境美化推進事業ということでソフト事業となりますが、是非、ビジョンでも検討していただきたい。それから小学校統合後の歩道の除雪については、高齢者等地域生活支援対策事業の中でも検討していきますので、よろしくをお願いしたい。

○土井棟治朗委員 観光案内標識に関連して、金山町方面から玉簾の滝に来たのだが、案内が分からなかった、という情報を聞いておりますので、大沢地区に是非、整備をお願いしたい。

○白崎政策推進課長 過疎については観光が重要になると思えますので、本件については担当課に申し伝えます。

○土井議長 時間の都合もありますので、(1)過疎地域自立促進市町村計画についてを、これで終了したいと思います。市担当課が退出しますので、暫時休憩といたします。

～～～休憩中～～～

○土井議長 では再開します。先月25日に行いました、管内視察の感想等について、委員の皆さんから何でも結構ですのでお願いしたいと思います。

○丸藤百合子委員 私は産直どんでん畑が印象に残っています。地域の創意工夫や取り組みで行っており、あのような地域力がむらおこしの原動力になると思うので、そうしたことが広がっていけば良いと思います。

○後藤甚一委員 私も「どんでん」はよくやっているなあ、と思いました。ただ、あそこは鳥海山や玉簾の滝という資源がありますので、大沢では難しいかな、と感じます。

- 信夫一秋委員 清涼飲料水、ヨーグルト、お粥を作っている事業所、それぞれ鳥海山というすばらしい自然の恵みを生かしているなあ、という印象です。
- 兵藤副会長 玉簾の滝についてですが、バスガイドさんと話す機会があり、滝ツアーのお客さんが非常に多いのですが、トイレに寄るだけで、売店で購入する人はごくわずかだそうで、もう少し宣伝が必要だ、ということ。それから県外の知人からは、滞在時間を長くするような工夫や仕掛けを考えたほうがいい、と言われたことをご紹介します。
- 池田善幸委員 やはりせっかく来てくれたお客さんから、少しでもお金を落としてもらいように、したたかにその方法を、外部の人の意見を入れながら考えていく必要があると思っています。
- 遠田蓉子委員 「ららら」や今回行かなかった、「ふらり」等をつなげば、もう少しうまくいくのではないかと考えています。それから、お粥は大変貴重がられますが、残念ながらラベルが下手で、良いものを売るときは工夫が必要だと、言われたことがあります。知人の話ですが、滝のライトアップは全国放送され、人気があるそうなので、今後も継続していただきたい。
- 後藤純子委員 大台野そばについては、観光客に是非、食してもらいたいと思います。知人が先日、鮭川村の学校の分校跡で催されたまつりに行き、地元食材等に満足したそうで、こちらでも日向コミセンの2階や既存施設を利用すれば実現可能ではないでしょうか。それから先日亡くなった、堀林弥さんの記念館を造るのも一つの宝になるのではないのでしょうか。
- 高橋知美委員 今回視察した中で、清涼飲料水の工場は、既に見学できるようになっており、お土産のお茶も渡され、すごく宣伝になると感じました。各観光施設という点を線で結ぶことで、相乗効果が出て来ると思います。

##### 5 総合支所からの報告事項等について

- 土井議長 それでは総合支所からの報告事項等について、2項目を事務局からお願いします。
- 事務局（資料No. 4・5により説明）(1)e-なかなネット事業の民営化についてですが、利用者等への対応は資料のとおりで、各地区で本年4月及び7月に説明会を開催し、現在までスムーズに移行作業が進んでおります。今後は、12月に入り移行ユーザー宅の切り替え作業を行ない、下旬までに終了の予定です。(2)平成23年度地域づくり予算要求等についてですが、枠内予算の関係で増額はなく、事業内容も今年度とほぼ同様となっています。
- 土井議長 ただいまの説明に関し、ご意見があればお願いします。
- 信夫一秋委員 庁舎維持管理事業でタウンセンター関係経費の減額ですが、内容を教えていただきたい。
- 後藤修地域振興課長 光熱水費、特に電気料が減額となったことによるものです。
- 土井議長 その他ご意見はございませんか。ないようでしたら、30分ほど予定時間がオーバーしましたが、本日の地域協議会を終了したいと存じます。

6 閉 会

○兵藤副会長 これを持ちまして、第3回目の地域協議会を閉会いたします。委員の皆さんご苦労様でした。